

# 地域コミュニティの 防災力

重川 希志依

連載 第10回

## 東日本大震災



重川 希志依

3月11日午後2時46分、東日本大震災が発生しました。被災地に行きその被害を目の当たりにした人たちは皆、「なにも言葉が出てこなかった」とおっしゃいます。私も同様に、ただただ呆然と、変わり果てた町を見つめることしかできませんでした。私が最初に被災地に入ったのは地震発生から3日目の3月14日のことです。2004年に発生した中越地震をきっかけに、行政の罹災証明発行のための支援活動を目的とした

「ネットワークおぢや」という組織の一員として現地に入りました。小千谷市役所から関越道、磐越道経由で宮城県に行ったのですが、当時はまだ、東北自動車道などは緊急車両しか通行できない状況だったために、高速道路内は消防、警察、自衛隊などの車両しか走っておらず、渋滞も無くスムーズに目的地に到着することができました。高速道路のサービスエリアには、緊急消防援助隊の車両が集結し、一路被災地に向けて走り去っていく姿を幾度も見かけました。

どこまで被害が拡大するのか誰にも予測ができない状況が続きましたが、震災直後の新聞には“死者3名、行方不明者多数”の大きな見出しが出ています。その後日がたつにつれ、死者・行方不明者の数はどんどんと増え続けました。一方、消防や警察・自衛隊の懸命な救助と捜索活動により、亡くなった方の収容と身元の確認が進められ、現在では行方不明者の数は約8,000

# 地域コミュニティの 防災力 重川 希志依

人となりました(図1)。約500kmにわたり、延々と続く津波被災地での捜索活動のご苦労は、想像を絶するものと思われます。

またこのたびの震災では本当に痛ましいことに、多くの消防職員、消防団員の方たちが殉職されました。死者・行方不明者の数は、消防職員27名、消防団員249名にもものぼり、消防団についてはいまだに調査中であり不明としている市町村が多くあるといえます(消防庁災害対策本部第127報)。また福島第一原子力発電所での災害対応など、自らの命と引きかえに活動に当たった消防職員の姿を、私たちは決して忘れることはないでしょう。東日本大震災では改めて、消防の仕事とは、常に命の危険と隣り合わせであることを実感することとなりました。しかし過去の災害時においても、津波警報が発令される中で沿岸部を回り、避難を呼びかける消防職団員の姿があり、安全確保に関する検討が求められていました。また、平成21年7月の豪雨災

害で被害を受けた山口県防府市では、救助に向かう消防車両が土石流に襲われ、消防職員13名が巻き込まれて、その安否が確認できないという緊迫した状況も起こっています。

そして消防団は、無線など装備の面で常備消防より脆弱な条件で活動しなければなりません。平成16年の新潟豪雨災害時には、どこからも情報が入ってこない中で、堤防に積んだ土のうを決壊寸前まで手で押さえ、間一髪のところまで退避し、死を免れた団員のお話をうかがったこともあります。

本誌No.178号に掲載させていただきましたが、私はこれまで、災害現場で危険を顧みず活動する消防職員や消防団員の方たちから生の声を聞き、それを記録に残す作業を続けてきました。消防団は地域住民の熱意に基づくボランティア精神に支えられ、平常時における地域の安全・安心環境の創造と、災害時における被害軽減の双方に重要な役割を果たす組織です。しかしながら、かつては全国で200万人に達していた消

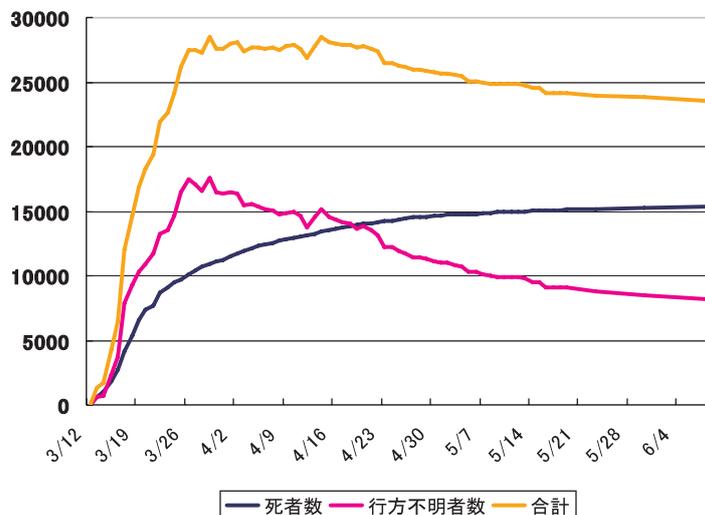


図1 死者・行方不明者の推移(岩手・宮城・福島3県)

# 地域コミュニティの 防災力 重川 希志依

防団員数は現在90万人にまで激減し、その数はさらに減少する傾向にあります。

私が勤務する大学には、消防士になりたいという希望を持って入学してくる学生が多く存在します。また、在学中に消防団に入り、学生団員として様々なことを先輩団員に教わり、将来に備える学生もいます。彼ら彼女らは心底、「人の役に立ちたい、人の命を守りたい」と思い、消防士を目指しています。景気が低迷する昨今、公務員を希望する学生は増えていますが、よく言われるように「公務員は安定しているから」という志望理由の学生は皆無です。言葉で語る

ことは簡単ですが、自分の命をかけて他人の命を守るのが消防の仕事であるということ、東日本大震災で再確認することとなりましたが、学生たちの消防士への夢は、それでも変わることは無いようです。

3月14日、被災地の中で立ち寄った東北自動車道のサービスエリアには、消防・警察・自衛隊、その他緊急対応に赴く人たちのために、暖かいおそばとおにぎりが、無料で振舞われていました（写真1、写真2）。多くの人たちが、無言で応援していることを知りました。



写真1 磐梯 SAの緊急車両（3月14日）



写真2 東北自動車道のSAに用意されていた食事（3月15日）